R1_PANEL 専用ソフト　取扱説明書

1.メイン画面の説明
　　ボタンの説明及び使い方
　　通信ポートの調べ方
　　接続方法

２.各種設定画面の説明
　　ボタンの説明及び使い方
　　センサー値の入力
　　使用許可方法
　　音声アドレスの設定
　　センサーポートの設定
　　A/D 変換の設定
　　登録の仕方
　　モニタの使い方

R1_PANEL 専用ソフト

　　本体　286KB
　　Microsoft .Net Framework 4 が必要です。
　　以下からリンクしています。

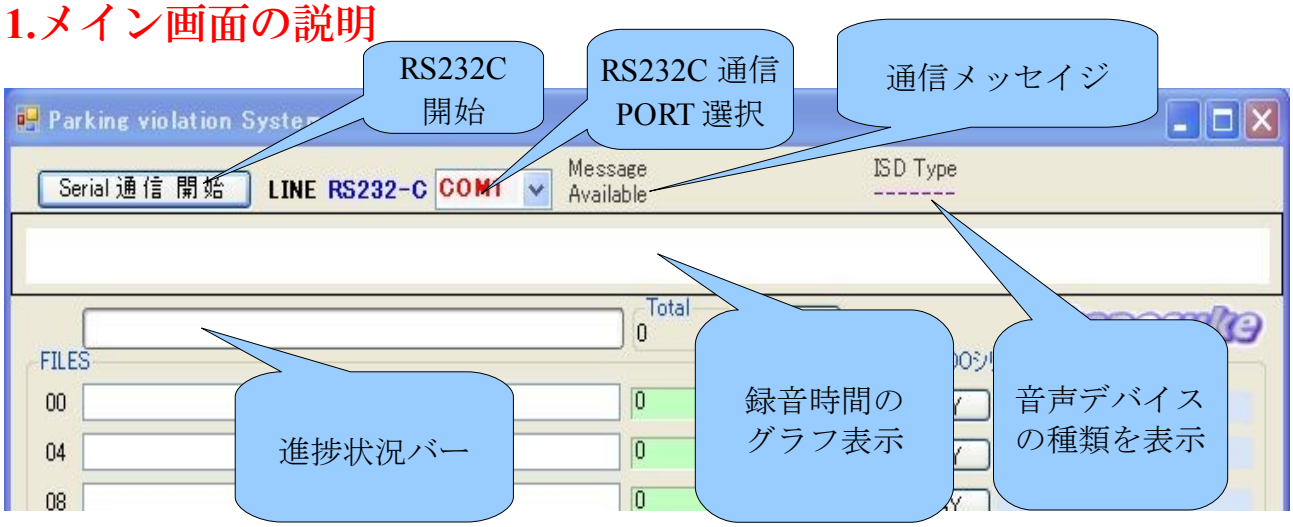
　　http://kaposuke.web.fc2.com/R1_PANELE_dl.htm

R1_PANEL
　　CUP　PIC 16F877A　20MHz
　　音声 LSI　ISD1700 シリーズ

　　上記使用のマルチパネルです。

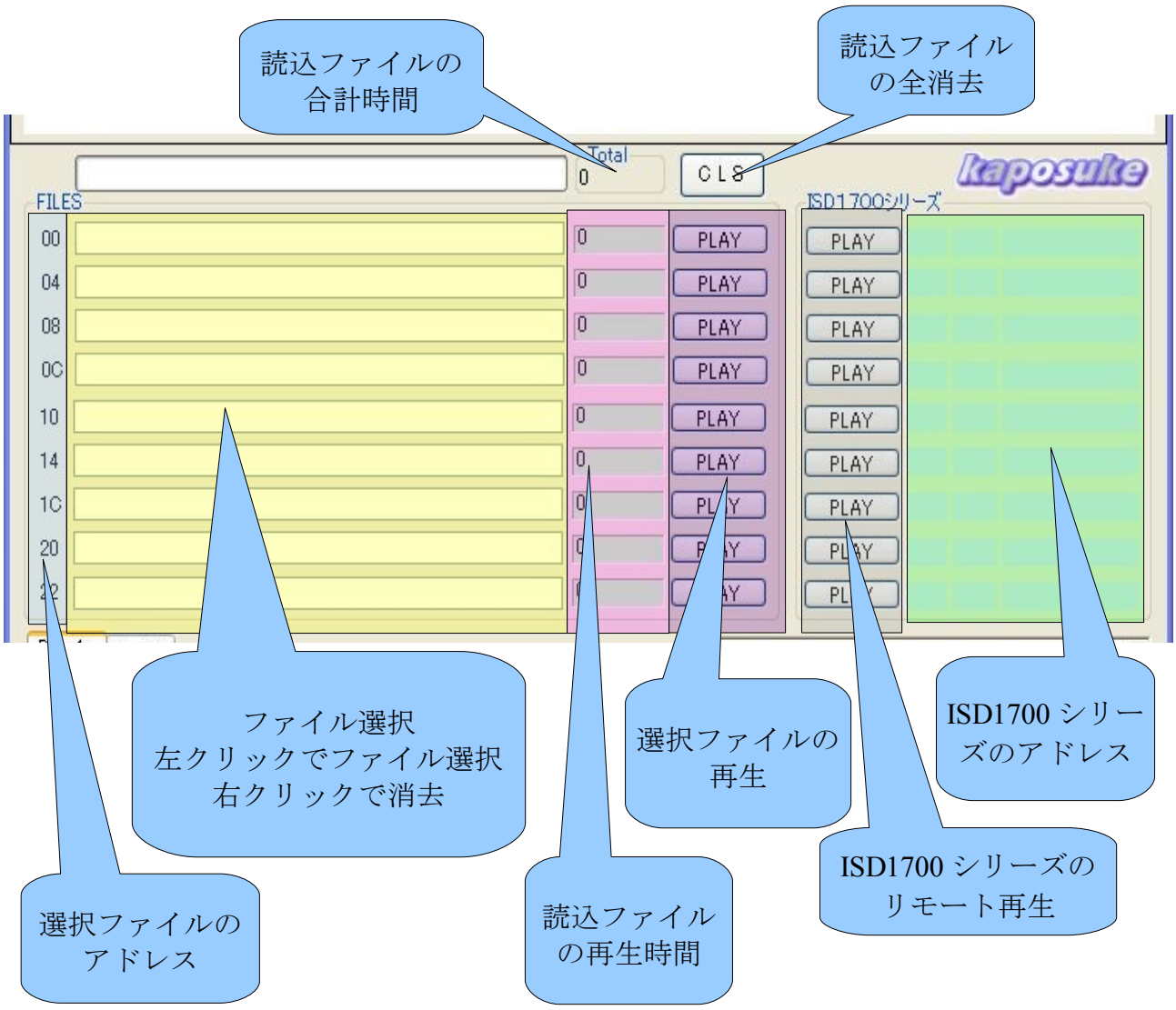
特徴
　　６台のセンサーを同時個別監視しています。
　　アナログ入力・デジタル入力、センサーにあった入力指定が出来ます。
　　ISD1700 シリーズを採用しているので、アンプが必要ありません。

1.メイン画面の説明



PC との通信

RS232C ボタンを押して PC と通信します。
通信が正常なら通信メッセイジに ISD1700 Communication と表示され
音声デバイスの種類にデバイスの種類が表示されます。
RS-232C 通信 PORT 選択は通信ポートの選択参照



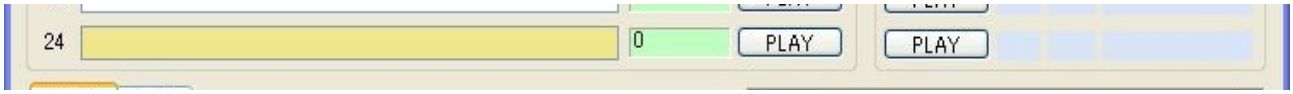
ファイルの選択

ファイル名の空白欄を左クリックするとファイル選択ウインドが開きます。
好みの WAV ファイルか MP3 を選択します。
選択すると右の枠にファイルの再生時間が表示されます。
右クリックすると消去されます。

ファイル側

PLAY ボタンを押すと再生されます。

最終警告音声ファイル



使い方は、上記と同じです。違いは、タイムオーバー時鳴動専用です。

※フォルダー名に空白がある場合、音がでません。

デスクトップにあるフォルダーも同じく音がでません。
（デスクトップは、Documents and Settings と言うホルダーに有る為です。）

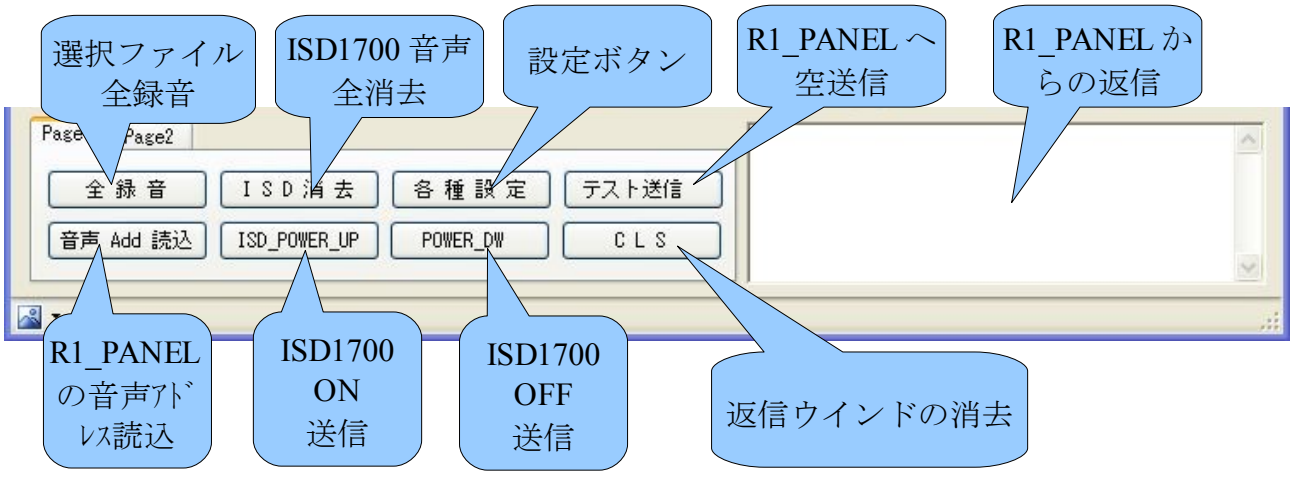
本ソフトは、ホルダー名に空白があると音声デバイスが認識できませんので音が出ない場合は、**べつに空白の無いホルダーを製作して**、選択を行って下さい。

以上は、R1_PANEL と通信していなくても、操作可能です。

ISD1700 シリーズ側

PLAY ボタンを押すと録音されたものを再生します。
R1_PANEL と通信中のみ、操作可能です。

各種ボタンの説明



Page1

以下は、**R1_PANEL と通信中のみ**、操作可能です。

全録音ボタン

選択ファイルを全て R1_PANEL へ登録、録音します。
※操作する前に、必ず ISD 消去してください。
（前の音声がかぶる為）

ISD 消去

SID1700 の音声データを消去します。

各種設定

センサー・ポート・監視時間等を設定するウインドが開きます。

テスト送信

R1_PANEL へ空データを送信します。
モニタを使った後に、カスデータを排除するときに使います。

音声 Add 読込

R1_PANEL の音声登録ｱﾄﾞﾚｽを読込ます。
ファイル名は、不明ですが、音声アドレス取得により
リモート再生が、可能となります。

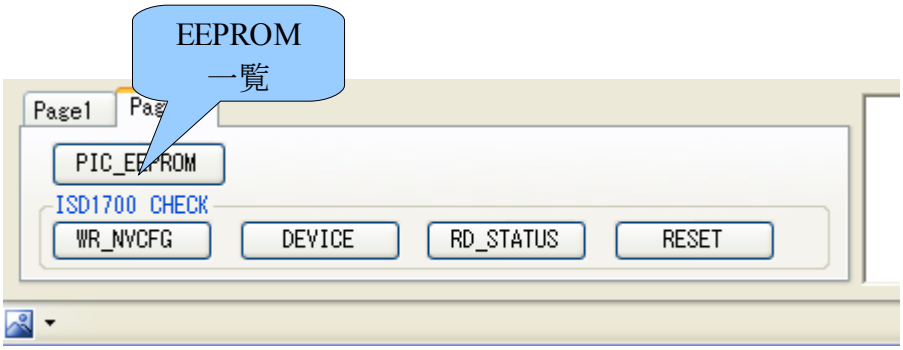
ISD_POWER_UP　POWER_DW

保守用ボタンです。

CLS

R1_PANEL からの返信欄を消去します。

Page2



PIC_EEPROM

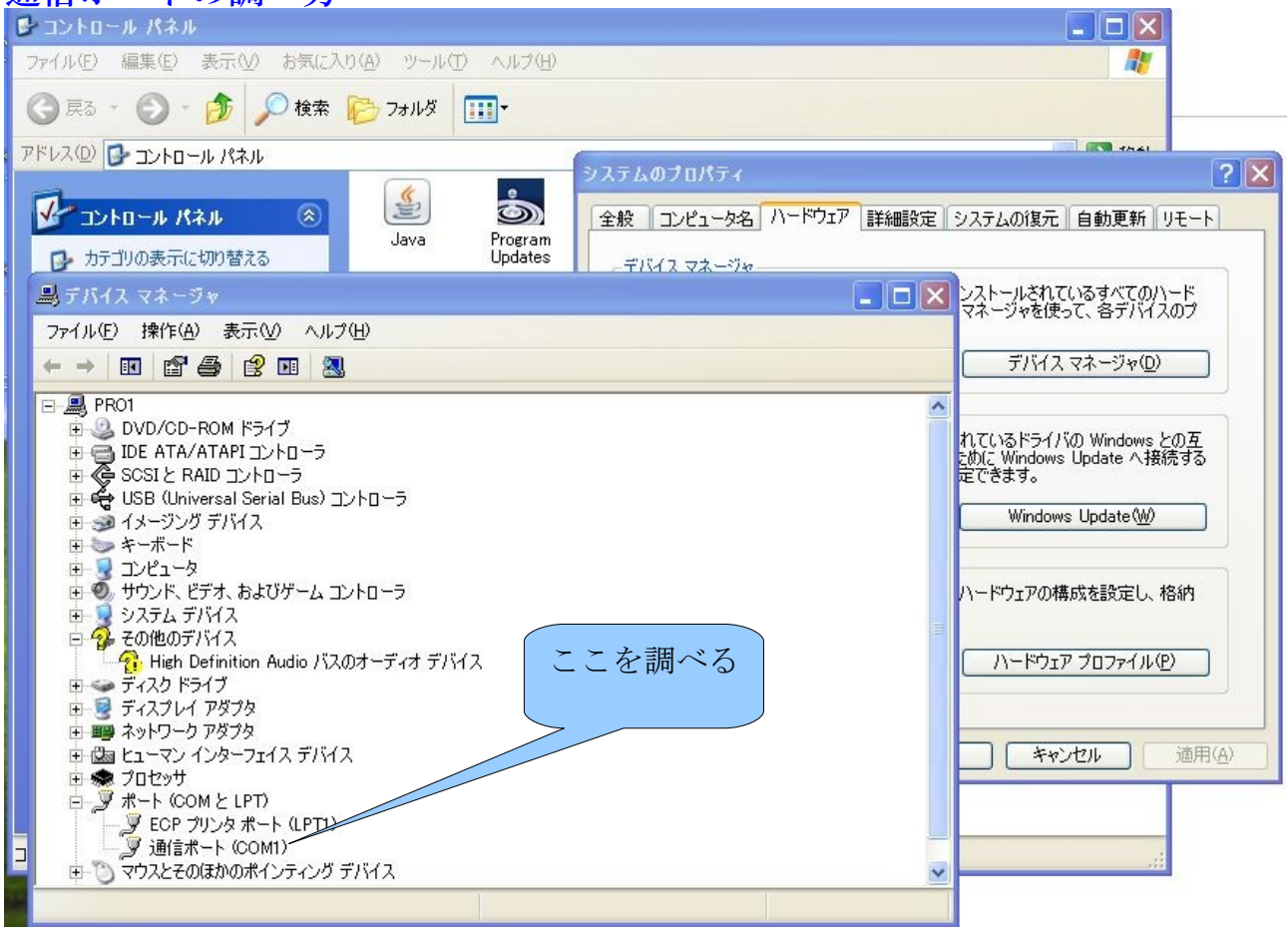
PIC 16F877A の EEPROM を表示します。

WR_NYCFG　DEVICE　RD_STATUS　RESET

保守用ボタンです。

通信ポートの選択

通信ポートの調べ方



「スタート」→「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」を選択します。

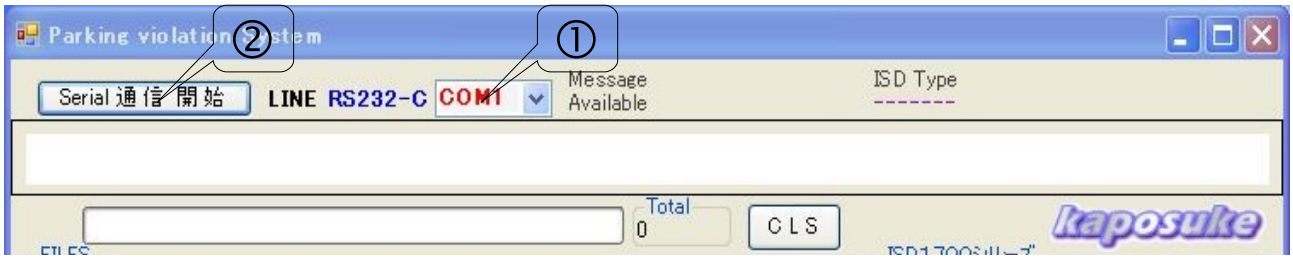
そこで、ポート（**COM** と **LPT**)の欄をクリックすると通信ポートの
シリアルポートとパラレルポート一覧が表示されます。
D-SUB コネクタであれ、**USB** 変換コネクタ接続の場合もすべて
そこにあります。

現在使用中の種類を探し、（）の中の **COM**？を控えておきます。
使用中の種類が解らなければ、とりあえず全て控えておきましょう。

通信ポートの接続

R1_PANEL の電源を ON にし、Reg モードにします。

① 通信ポートを選択（COM)し、② Serial 通信　開始ボタンを押す。



通信が正常なら通信メッセイジに ISD1700 Communication と表示され
音声デバイスの種類にデバイスの種類が表示されます。

通信できない場合は、控えた COM を変えてみて下さい。

USB 変換プラグを使用の際は、プラグのセットアップをお忘れなく。

通信できない理由

① ポート（COM)間違い。
②USB 変換プラグを使用の際は、セットアップがまだ。
③R1_PANEL が登録（REG)ﾓｰﾄﾞでない。
④R1_PANEL の電源が入っていない。
以上が考えられます。

通信確認は、Windows **XP　Professional SP3** 製品で確認しております。

PC と R1_PANEL との通信は、音声録音及び各種設定のみ
の使用時だけです。

２.各種設定画面の説明

センサー感知範囲

0 より大きく 256 より小さい数字を入力して下さい。

５ V のセンサー電圧を２５５分割 A/D 変換しています。

最大距離を入力して下さい。

最小距離を入力して下さい。

最大距離と最小距離間をカウント（感知と）します。

それ以外は、無効になります。

使用許可

センサーを同時に６台監視できしかも、個別監視しています。

使用したいセンサー端子を選択して下さい。

連動許可

１センサーあたり、パトライトと音声モジュールを同時に２連動できます。

センサーで連動したい物を選んで下さい。

F_NO

音声ファイルアドレスの設定です。

各センサーに対して、どの音声を鳴動するかを選択します。

重複登録も可能です。

音声アドレスは、メイン画面のファイル名の前の数字（16 進数）です。

半角の文字列を入力して下さい。

パトライト開始時間

センサー感知からの作動開始するまでの時間

音声モジュール作動時間

センサー感知からの作動開始するまでの時間

パトライト停止時間

センサーが感知しなくなってから、リセットするまでの時間
パトライト消灯
（音声モジュールもリセットされます。）

オーバーフロー時間

センサー感知からリセットするまでの時間
オーバーフロー時間に達するとパトライト消灯
音声モジュールの停止となり、移報接点が出力されます。
（無電圧 A 接点）

移報接点の復旧

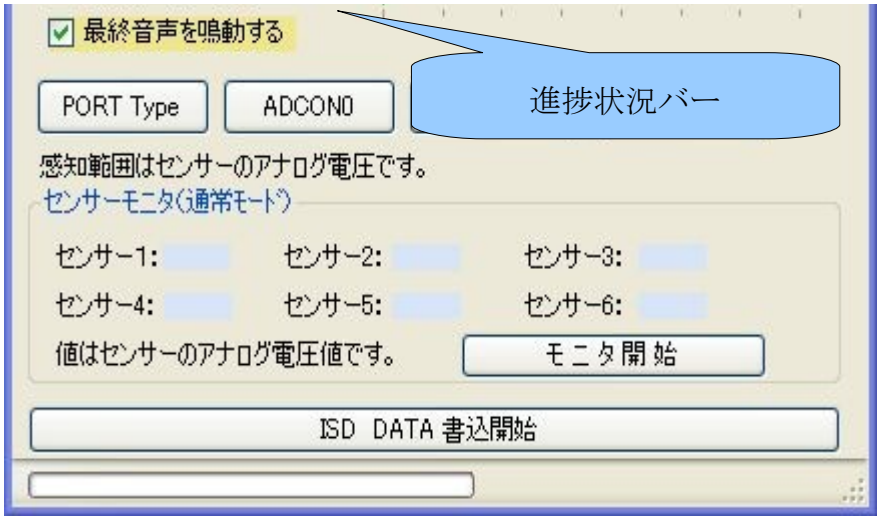
R1_PANEL センサー復旧、STOP ボタン、CPU RESET ボタンのいずれかで、復旧されます。

音量

音声モジュールの音量を決めます。
スライドバーを移動します。
移動毎に ISD1700 に登録されます。

最終音声を鳴動する

メイン画面の一番下の音声ファイルを鳴動します。
鳴動しない場合は、チェックボタンを外して下さい。



PORT Type ボタン

PCFG3: PCFG0	AN7(1) RE2	AN6(1) RE1	AN5(1) RE0	AN4 RA5	AN3 RA3	AN2 RA2	AN1 RA1	AN0 RA0	VREF+	VREF-	CHAN / REFS
0000	A	A	A	A	A	A	A	A	VDD	VSS	8/0
0001	A	A	A	A	VREF+	A	A	A	RA3	VSS	7/1
0010	D	D	D	A	A	A	A	A	VDD	VSS	5/0
0011	D	D	D	A	VREF+	A	A	A	RA3	VSS	4/1
0100	D	D	D	D	A	D	A	A	VDD	VSS	3/0
0101	D	D	D	D	VREF+	D	A	A	RA3	VSS	2/1
011x	D	D	D	D	D	D	D	D	VDD	VSS	0/0
1000	A	A	A	A	VREF+	VREF-	A	A	RA3	RA2	6/2
1001	D	D	A	A	A	A	A	A	VDD	VSS	6/0
1010	D	D	A	A	VREF+	A	A	A	RA3	VSS	5/1
1011	D	D	A	A	VREF+	VREF-	A	A	RA3	RA2	4/2
1100	D	D	D	A	VREF+	VREF-	A	A	RA3	RA2	3/2
1101	D	D	D	D	VREF+	VREF-	A	A	RA3	RA2	2/2
1110	D	D	D	D	D	D	D	A	VDD	VSS	1/0
1111	D	D	D	D	VREF+	VREF-	D	A	RA3	RA2	1/2

次のウインドが開きます。
アナログ入力・デジタル入力を選択できます。
A/D 変換周波数の拡張 BIT の変更は、PIC 16F877A のデータシート ADCON1 を参照して下さい。
通常は、そのままで変更決定して下さい。
※登録の際は、変更しなくても必ず、変更決定ボタンを押して下さい。

ADCON0 ボタン

次のウインドが開きます。

センサーポートの順番とサンプリング周波数を変更できます。
変更の際は、PIC 16F877A のデータシート ADCON0 を参照して下さい。
通常は、そのままで変更決定して下さい。
※登録の際は、変更しなくても必ず、変更決定ボタンを押して下さい。

PIC DATA ボタン

PIC 16F877A の EEPROM から登録された、各種設定を読込み、入力欄、ボタン等に反映されます。

ISD DEVIS ボタン

使用していません。

ISD DATA 書込みボタン

全ての設定が終了したらボタンをおして、PIC へ設定を書込みます。
動作確認は、モードを Normal にし CPU Reset ボタンを押して行います。

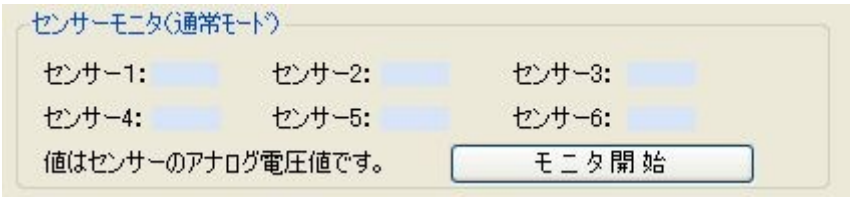
モニタの使用方法

R1_PANELの電源ONにし、登録(Reg)モードにする。

モニタ開始

モニタ開始ボタンを押し**5秒以内にR1_PANELのモードをNormalにします。**

タイミングが合わない場合は、モードを元に戻し、再度
モニタ開始を押し、5秒以内に、モードをNormalにします。



値は、センチでは有りません。測定電圧255分割値です。
実際にセンサーの前でモニタ測定し
最大感知距離、最小感知距離の値として、採用して
下さい。

モニタ終了

センサーモニタ中ボタンを押します。
次にR1_PANELのモードを登録（Reg)にします。

モニタは、センサーの値測定のみです。
パトライト、音声モジュールの動作確認等との併用は
できません。

各種設定を行ったら必ず再起動（CPU Reset）して
通常（Normal)モードで動作確認してください。